

スカート、学ランも自由

来年度から佐野高・付属中

「第3の制服」と併せ運用

多様性に配慮した「第3 着用も認める。」

の制服」を生徒主体で考案した佐野高・同付属中で23日、来年度からの制服の運用方法が決まった。既存の学ラン、セーラージャケットに新制服のジャケットを加え、3種類から自由に選択できるようにする。同日の終業式で、青柳育夫校長が生徒に伝えた。

制服作りは、生徒会長の高校2年土屋吏輝さん(17)の提案が始まり、性別を問わず選択できるジャケットが完成した。体形に合わせて直線型、曲線型の2タイプを用意する。

生徒と学校側が話し合い「どの制服を選ぶ場合でも障壁がないように」と、男子が学ラン、女子がセーラージャケットとの指定もなくし、誰もが選択できるようにした。男子のスカート

新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインで実施された終業式で青柳校



「第3の制服」の見本を見るため集まった生徒たち＝23日午前、佐野高

長は「生徒から始まったチャレンジが学校全体を巻き込み、ここまで来た」とたたえた。

式典後、校内に展示された新制服の前に次々と生徒が訪れた。女子生徒の1人は「『かわいい』より『かっこいい』が好きなので、デザインが気に入った」と

笑顔だった。土屋さんは「貴重な経験になった。少しでも社会が変わるきっかけになればうれしい」と話した。

(小口華奈子)